

## 健都から始まる、まちぐるみの健康づくり

コラ45

北大阪健康医療都市（健都）では、国立循環器病研究センターを中心に、健康・医療のまちづくりを進めています。

### ○「暮らしにとけこむ健康づくり」を体感できる健都

日々の暮らしの中で自然と健康になれるきっかけを提供できるよう、健都レールサイド公園や健都ライブラリー等のハード面から取り組む一方、健康医療・分野の企業（産）と研究機関（学）との共同研究等により、新たな知見が生み出され、**健都をフィールドに具体的なサービスとして市民に還元する**といった好循環の仕組みづくりを進めています。



### ○データヘルスと健都の融合により、更なる健康づくりの高みへ



近年、PHR やマイナポータルという言葉をよく耳にするようになりました。PHR とは「パーソナル・ヘルス・レコード」のこと。個人の健康・医療・介護に関する情報のことで、様々なサービスに活用が可能です。

国では健康情報の一元管理のための環境整備として、**マイナポータル**を整備。健康医療情報を活用した施策の推進は、「データヘルス」の取組として国や大阪府も進めています。

健診結果だけでなく、起床就寝時間・活動量・食事などのライフログも含めた**健康・医療情報を活用するための基盤整備と手法**ができつつあります。それにより、**データ分析による新しい製品・サービスの創出、個人に合わせた効果的・効率的な保健指導の実施等**、官民間問わず様々なサービスにおいて研究成果が活用されます。

### ○データヘルスで私たちの生活はどう変わる？

スマートフォンを使って、ライフログを記録している人は多いと思いますが、健診結果も合わせて管理すれば、**日々の努力（経過）とその成果（健診結果）のつながりが見える化**し、今以上に**自身の健康への気づき**が促進されます。



データヘルスにおける研究では、これまでの健診情報を活用して、**生活習慣病予防に役立つ様々な新しい知見**の発見をめざしています。それを市民の皆さんにお返すのも、データヘルスの取組です。

### ○まちづくりとイノベーションの好循環により健康寿命延伸へ

産学官民全ての主役が、まちぐるみで、イノベティブな取組に挑戦できる環境が健都の魅力・強みです。特にデータを活用した取組を総合的に推進し、「**まちづくりとイノベーションの好循環**」を加速させていきます。